【別冊】

令和3年度

事 業 計 画 並 びに予 算 書

社会福祉法人丸亀市社会福祉協議会

目　　次

令和３年度事業計画 …… 1 ページ

実施事業 …… 8 ページ

令和３年度資金収支予算書 …… 11 ページ

令和３年度資金収支予算会計区分一覧 …… 12 ページ

法人総合計 …… 14 ページ

１．社会福祉事業区分 …… 16 ページ

（１）法人運営事業拠点区分 …… 17 ページ

（２）地域づくり推進事業拠点区分 …… 19 ページ

（３）共同募金配分事業拠点区分 …… 21 ページ

（４）貸付事業拠点区分 …… 22 ページ

（５）しおや保育所事業拠点区分 …… 23 ページ

（６）介護サービス事業拠点区分 …… 24 ページ

（７）障害福祉サービス事業拠点区分 …… 26 ページ

２．収益事業区分 …… 28 ページ

（８）自動販売機事業拠点区分 …… 29 ページ

事　業　計　画

令和３年度事業計画

【基本方針】

超高齢化社会の進展とともに人口減少局面を迎えた現代社会において、単身世帯の増加、子育ての孤立化など、福祉的な支援を必要とする人はますます増加しています。
また、新型コロナウイルス禍による人と人とのつながりの分断は、先人が築き上げ、機能してきたと思われていた社会福祉システムの脆弱性を浮き彫りにすることとなり、大きな社会問題となっています。

このような状況において、丸亀市社会福祉協議会では、「みんながつながり、みんなで支え合い、誰もが安全に安心して暮らせるまち丸亀」という基本理念の実現に向けて、住民をはじめとした地域の多様な主体と連携し、地域づくりを進めてきました。

令和３年度は、行政と協働で策定した「丸亀市第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画　みんなのふくし丸亀プラン」に掲げた１０の行動目標に基づく取り組みを着実に進めるとともに、「丸亀市社会福祉協議会　第一次強化発展計画」において中長期的視点に立ったビジョンを定め、重点課題解決のための具体的方策の推進など組織内部の連携をさらに進め、社協の総合力を発揮した取り組みを進めます。

【重点事業】

Ⅰ　地域づくりの推進

１．地域づくり推進事業

【重点】　（１）たすけあいサービス事業（共同募金助成事業）

同一コミュニティ内に住む住民相互の生活支援の仕組みとして平成２５年度より事業を進めてきましたが、ニーズ受付やボランティア募集など、事業実施体制の継続が困難となり利用が伸びませんでした。
本年度は、実施コミュニティが柔軟に対応できるよう事業実施要項を変更し、共同募金で集められた地域の財源を一部活用しながら、住民主体による課題解決の仕組みを継続的に支援します。

項目	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３目標
実施地区	２地区	２地区	３地区
実施予定地区	飯山南、飯山北	飯山南、飯山北	飯山南、飯山北 １地区

【重点】　（２）生活支援体制整備事業

現在、事業を進めている地区では、介護保険の仕組みに基づく高齢者の生活支援としてのサービスや居場所づくりが検討されていますが、話し合いの場では、地域全体を考えたまちづくりの話題も多く挙げられています。

本年度は、各コミュニティで策定されたまちづくり計画とも整合性を図り、支える側支えられる側といった関係性を超えた地域づくりの一手段として事業を進めます。

項目	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３目標
実施地区	５地区	７地区	９地区
話し合いの場回数	３５回	４５回	６０回
実施予定地区	城北、城坤 郡家、岡田 飯山北	（追加） 飯山南、広島	（追加） ２地区

２．ボランティア活動推進事業

【重点】　（１）ボランティアセンター事業

新型コロナ禍においては、施設・団体等でのボランティア活動の制限がある一方、傾聴などの支援ニーズはあり、双方の調整が困難な状況です。

本年度は、市民交流活動センター「マルタス」開館に伴い、市民活動登録者のボランティア登録や講座の開催、ＳＮＳでのボランティア情報の発信など多様な主体との連携を深めます。

項目	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３目標
相談件数	１８件	１２件	１００件
登録者数	６４名	７３名	１５０名
マッチング件数	－	－	２０件

Ⅱ　総合相談支援の強化

【重点】　**１．生活困窮者自立支援事業（丸亀市自立相談支援センターあすたねっと）**

新型コロナウイルスの影響を受けた世帯に対し、経済的支援策として生活福祉資金の特例貸付や住居確保給付金を多くの方が利用され、様々な生活課題を抱えた世帯が顕在化しました。

本年度は、人員体制を強化し、生活困窮者自立支援事業と生活福祉資金貸付事業の一体的な支援を通じて、世帯の困りごとに丁寧に対応し、必要な支援に結びつけるなど、相談者の生活課題の解決に取り組みます。

項目	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３目標
新規相談件数	１１２件	６６０件	１２０件
プラン作成数	５３件	５０件	６０件

【重点】 **２．成年後見推進事業（後見センターまるがめ）**

成年後見制度利用促進に係る地域連携ネットワークの中心的な役割を担う中核機関を受託し、必要な人が確実に成年後見制度につながるよう制度の周知理解や相談支援を強化します。

また、利用者や成年後見人等を地域で支える仕組みを考える権利擁護体制の構築を目指します。

本年度は、相談窓口の周知啓発・相談機能を強化するため、出前講座や専門職による成年後見人制度専門職相談を実施します。

また、市民後見人養成により担い手の育成及び地域の理解を深められるよう働きかけます。

項目	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３目標
中核機関相談件数	５０件	７５件	１００件
市民後見人受任件数	６件	７件	９件

Ⅲ　しおや保育所の安定経営

【重点】 **１．地域貢献活動事業**

昨年度は、地域のまつりへの参加やいきいきサロンとの交流は、新型コロナウイルスの影響で出来ませんでした。本年度も難しくなることが予想されますが、特にいきいきサロンとの交流は、直接会えなくても手紙のやり取りをするなどの方法を考え、繋がりを大切にしていきたいと思います。

また、しおや保育所は、災害時の緊急避難場所であり、コロナ禍での避難体制も検討し、緊急時に備えたいと思います。

【重点】 **２．多文化共生事業**

しおや保育所には、外国籍家庭の子どもが多く在籍しています。新型コロナウイルス感染防止対策については、言葉だけでなく感じ方や考え方の違いもあり対応に困ることもありますが、行政との連携も取りながら情報をきちんと伝え、取り残されることの無いよう丁寧な対応を心がけています。

また、外国からの変異ウイルスの問題など、様々な社会的影響が懸念される中、外国籍家庭に対する差別や偏見などに繋がることのないよう気を付けて、異なる文化を持つ子どもたち同士の共生に努めます。

国籍	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３予定
中国	４家庭６名	４家庭６名	５家庭６名
ペルー	３家庭４名	４家庭５名	５家庭７名
フィリピン	１家庭１名	１家庭１名	１家庭１名
合　計	８家庭１１名	９家庭１２名	１１家庭１４名

【重点】 **３．しおや保育所あり方検討**

保育士不足の問題については、人材確保のため、関係機関への積極的なアプローチを行うとともに、人材定着のため、園内研修やカンファレンスの充実、勤務体制のあり方や時間外削減について検討していきます。

保育士養成機関を訪問し、学生の職場選択の傾向など色々とお話を聞く中で、正規保育士採用試験の時期や内容、しおや保育所をアピールする方法の見直しが必要であると考え準備をしています。

昨年度は新採用の保育士（３名）を対象に、それぞれ年間５回の研修・カンファレンスを行いました。担当クラスでの保育の様子を見てアドバイスをしたり、困っている事や悩んでいる事を話し合ったりすることで、安心して仕事を続けていけるようにしています。

保育士の状況	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３予定
正規保育士	１８名	２０名	２０名
有期保育士	８名	６名	７名
保育助手	３名	２名	２名
合　計	２９名	２８名	２９名

Ⅳ　介護サービス事業の安定経営

【重点】 **１．介護保険事業（訪問介護事業・居宅介護支援事業）**

訪問介護事業・居宅介護支援事業では、これまでにサービス提供責任者や介護支援専門員がそれぞれ担当する利用者に目標となる数値を設定し、利用者の確保及び介護報酬の増加に努めてまいりました。今後もこの目標数を維持、継続していくとともに、書類や記録については過誤が生じないよう緊張感を持って取り組んでまいります。

また訪問介護事業では、新しい加算「介護職員処遇改善加算Ⅰ」を取得（令和３年４月取得予定）しています。新加算の取得により報酬額の増加が見込まれますが、その加算の取得に係るキャリアパス要件や職場環境用件等が適切に満たすことができるよう取り組みます。

項目	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３目標
サービス提供責任者 １人あたり担当件数	３０人	３２人	３４人
ケアマネジャー １人あたり担当件数	２５人	２９人	３２人
処遇改善加算による 収入額	４，１３１千円	４，３２７千円	５，７５４千円

【重点】 **２．障害福祉サービス事業（居宅介護事業・重度訪問介護事業・同行援護事業）**

障害福祉サービスにおいても、新しい加算「特定事業所加算Ⅱ」及び「福祉・介護職員処遇改善加算Ⅰ」を取得（令和３年４月取得予定）しています。

介護保険事業と同様、新加算の取得により報酬額の増加が見込まれますが、その加算の取得に係るキャリアパス要件や職場環境要件、また各種書類や記録等について過誤が生じないよう緊張感を持って取り組みます。

項目	Ｒ１実績	Ｒ２見込み	Ｒ３目標
特定事業所加算取得による収入額	なし	なし	１，４００千円
処遇改善加算取得による収入額	２，５６９千円	２，７６７千円	３，７００千円

【重点】 **３．研修会の実施・参加**

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの企業が研修の実施形式を従来の「集合研修」から、非対面によるオンラインやリモートでの研修が実施されています。

このような状況を鑑み、介護事業課でも定期的に実施している内部研修において、必要に応じてタブレット等の機器を活用して研修が実施できるよう検討します。

職員の高齢化もあり、そのような機器の取り扱いに抵抗のある職員もいますが、できる限り簡単に操作ができるよう配慮し、少人数での研修が実施できるよう工夫して研修会を行います。

Ⅴ　経営体制の強化

１．社会福祉協議会の組織・事業・財政等の強化事業

【重点】 **（１）社協強化発展計画の推進**

この計画は、地域福祉活動計画と連動して、相互に作用し機能する関係にあります。両計画にはそれぞれの役割があり区別されていますが、「地域福祉の推進」を担う本会のミッションにおいては共通しています。

本年度は、スケジュールにもとづき、プロジェクト委員会を中心に職員アンケート、若手職員によるクロス会等を通じ全職員の意見やアイデアを取り入れ、具体的な方策を検討し実施、見直しを図ります。

項目	Ｒ３目標
スケジュールの実施	具体的方策の検討、実施、見直し

【新規】 **（２）人材育成計画の策定**

この計画では、先ず職員の育成にあたり本会が目指すべき職員像と未来像を全職員に共有します。

職員が担当業務の知識を深めることと合わせ、今後の地域社会の動向を見据えコミュニティソーシャルワーカーとして多様な課題に対応できる力を身につけることが必要です。そのため、職員が研鑽し続けられる環境整備が重要であり、研鑽の目的や意義など職員が自ら考え、意欲をもって取り組める機会をつくり個の力を組織の力につなげます。

項目	Ｒ３目標
研修の受講と実践	実施
人材育成基本方針	試行、見直し
人材育成ガイドブック	試行、見直し

【重点】　（３）内部プロジェクト委員会の充実

プロジェクト委員会は、職員の意見を反映させたテーマで立ち上げ、会の発足時にスケジュール設定と達成する目的をメンバーで共有します。

開催方法は、期間やメンバー構成にとらわれず、必要な時に立ち上げ、テーマにふさわしい職員が参集して行います。

課を超えて職員同士がつながり協力し合える体制で活性化を図ります。

項目	Ｒ３目標
プロジェクト委員会	あり方検討

令和３年度 実施事業

地域づくりの推進【地域福祉課】

１．地域づくり推進事業

（１） 地域福祉活動計画推進事業

（２） 共助の基盤づくり事業

【重】 ① たすけあいサービス事業

② 小地域ネットワーク活動事業（地区担当制）

③ 高齢者友愛訪問活動事業（一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者）

④ 災害時要援護者福祉マップ作成事業

⑤ 企業連携型巡回見守り活動事業

⑥ 家具転倒防止器具設置支援事業

⑦ 生活支援配食サービス事業

⑧ 救急医療情報キット配布事業（安心キット）

⑨ ふれあい・いきいきサロン助成事業

⑩ 見守りネット事業（情報♡ほっとメール、見守りネット講演会）

【重】 （３） 生活支援体制整備事業

（４） 地区コミュニティ助成事業

（５） 丸亀市社会福祉大会受託事業

２．ボランティア活動推進事業

【重】 （１） ボランティアセンター事業

（２） ボランティア保険の加入促進

（３） ボランティア活動の推進

① こどもふくしセミナー事業

② ふれあいワークキャンプ事業

③ ふくしフェスティバル開催事業

④ 福祉教育推進事業（ふくし体験グッズ貸出）

（４） 災害ボランティア活動

３．地域サポート事業

（１） 車いす貸出事業

（２） イベント機材貸出事業

（３） 育児用品貸出事業

（４） 福祉車両貸出事業

４．丸亀市ファミリー･サポート･センター事業

（１） 会員登録、マッチング

（２） 会員養成研修、フォローアップ研修、会員交流事業

共同募金助成事業【地域福祉課・相談支援課・介護事業課】

１．買物支援事業
２．福祉教育推進事業（ふくし体験グッズ貸出）
３．子ども食堂応援プロジェクト事業
４．福祉車両貸出事業（地域サポート事業）
５．世代間交流支援事業
６．高齢者友愛訪問活動事業（一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者）
７．たすけあいサービス事業
８．災害備蓄整備事業
９．新型コロナウイルス禍による緊急支援事業
１０．地域歳末たすけあい配分事業

社会福祉関係団体との連携・支援【地域福祉課】

１．丸亀市共同募金委員会事務局の運営
（１）　赤い羽根共同募金運動
（２）　地域歳末たすけあい募金運動
２．丸亀市民生委員児童委員協議会連合会事務局の運営
３．丸亀市福祉ママ会議連合会事務局の運営
４．丸亀市身体障害者福祉連合協会事務局の運営
５．丸亀市老人クラブ連合会事務局の運営

総合相談支援の強化【相談支援課】

１．総合相談支援窓口の設置（ふくしの相談支援窓口「あすたねっと」）
【重】　（１）　生活困窮者自立支援事業（丸亀市自立相談支援センターあすたねっと）
① 自立相談支援事業
② 家計改善支援事業
③ 住居確保給付金相談
④ 助け合い金庫貸付事業
⑤ 生活福祉資金貸付事業
【重】　（２）　成年後見推進事業（後見センターまるがめ）
① 法人後見推進事業
② 市民後見推進事業
③ 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）
④ 成年後見制度専門職相談
（３）　無料専門相談事業（ふれあい相談センター）
① 弁護士相談
② 司法書士相談
（４）　香川おもいやりネットワーク事業（おもいやりネット丸亀）

しおや保育所の安定経営【しおや保育所】

１．通常保育

２．特別保育

（１）　延長保育促進事業

（２）　保育所地域活動事業

（３）　障がい児保育事業

【重】３．地域貢献活動事業

【重】４．多文化共生事業

【重】５．しおや保育所あり方検討

６．福祉サービス苦情解決事業

介護サービス事業の安定経営【介護事業課】

【重】１．介護保険事業

（１）　訪問介護事業

（２）　居宅介護支援事業

２．ホームヘルプサービス事業

（１）　生活管理指導員派遣事業

（２）　軽度生活援助事業

（３）　子育てホームヘルプサービス事業

（４）　介護保険外訪問介護サービス事業

３．障害福祉サービス事業

【重】　（１）　居宅介護事業

【重】　（２）　重度訪問介護事業

【重】　（３）　同行援護事業

（４）　移動支援事業

【重】４．研修会の実施・参加

５．福祉サービス苦情解決事業

経営体制の強化【総務企画課】

１．社会福祉協議会の組織・事業・財政等の強化事業

【重】　（１）　社協強化発展計画の推進

【新】　（２）　人材育成計画の策定

【重】　（３）　内部プロジェクト委員会の活性化

収益事業による財源確保【総務企画課】

１．自動販売機事業